



ポリシーベースのデータ保護の設定と有効化 SnapManager Oracle

NetApp
November 04, 2025

目次

ポリシーベースのデータ保護の設定と有効化	1
RBAC が有効な場合の DataFabric Manager サーバおよび SnapDrive の設定	1
RBAC が有効になっていない場合の SnapDrive の設定	2
プロファイルでのデータ保護の有効化または無効化の概要	2

ポリシーベースのデータ保護の設定と有効化

プロファイルでデータ保護を有効にしてセカンダリストレージシステム上のバックアップを保護できるように、SnapDrive と DataFabric Manager サーバを設定する必要があります。Protection Manager のコンソールで保護ポリシーを選択して、データベースバックアップの保護方法を指定することができます。



データ保護を有効にするには、OnCommand Unified Manager が別のサーバにインストールされている必要があります。

RBAC が有効な場合の DataFabric Manager サーバおよび SnapDrive の設定

Role-Based Access Control (RBAC ; ロールベースアクセス制御) を有効にした場合は、RBAC 機能を含めるように DataFabric Manager サーバを設定する必要があります。また、DataFabric Manager サーバで作成した SnapDrive ユーザおよびストレージシステムの root ユーザも SnapDrive に登録する必要があります。

1. DataFabric Manager サーバを設定します。
 - a. DataFabric Manager サーバを更新して、ターゲットデータベースによってストレージシステム上で直接行われた変更を更新するには、次のコマンドを入力します。 `dfm host discover storage_system`
 - b. DataFabric Manager サーバで新しいユーザを作成し、パスワードを設定します。
 - c. DataFabric Manager サーバ管理リストにオペレーティングシステムユーザを追加するには、次のコマンドを入力します。 `dfm user add sd-admin`
 - d. DataFabric Manager サーバに新しいロールを作成するには、次のコマンドを入力します。 `dfm role create sd-admin-role`
 - e. DFM の .Core.AccessCheck グローバル機能をロールに追加するには、次のコマンドを入力します。 `dfm role add sd-admin -role df.Core.AccessCheck Global`
 - f. オペレーティングシステムユーザに SD-admin-role を追加するには、次のコマンドを入力します。 `dfm user role set sd-adminsd-admin -role`
 - g. DataFabric Manager サーバで SnapDrive root ユーザ用の別のロールを作成するには、次のコマンドを入力します。 `dfm role create sd-protect`
 - h. SnapDrive root ユーザまたは管理者用に作成されたロールに RBAC 機能を追加するには、次のコマンドを入力します。 `dfm role add sd-protect sd.Config.Write Global`
`dfm role add sd-protect sd.Config.Delete Global`
`dfm role add sd-protect sd.Storage.Delete Global`
`dfm role add GlobalData protect GlobalData`
 - i. ターゲットデータベースの Oracle ユーザを DataFabric Manager サーバの管理者リストに追加し、SD-protectadb_host1\oracle コマンドを割り当てて、次のコマンドを入力します。 `dfm user add -r sd-protectadb_host1\oracle`
 - j. DataFabric Manager サーバでターゲットデータベースで使用するストレージシステムを追加するには、次のコマンドを入力します。 `dfm host set storage_system hostLogin=oracle`
`hostPassword=password`

- k. DataFabric Manager サーバのターゲットデータベースで使用されるストレージシステムに新しいロールを作成するには、次のコマンドを入力します。 `dfm host role create -h storage_system -c "api- *、login- *" storage-rbc-role`
- l. ストレージシステムに新しいグループを作成し、DataFabric Manager サーバで作成した新しいロールを割り当てるには、次のコマンドを入力します。 `dfm host usergroup create -h storage_system -r storage-rbac -role storage -rbac -group`
- m. ストレージシステムに新しいユーザを作成し、DataFabric Manager サーバで作成した新しいロールとグループを割り当てるには、次のコマンドを入力します。 `dfm host user create -h storage_system -r storage -rbac -role -p password -g storage-rb_host1`

2. SnapDrive を設定します。

- a. sd-admin ユーザのクレデンシャルを SnapDrive に登録するには、次のコマンドを入力します。
`snapdrive config set -dfm sd-admin dfm_host`
- b. SnapDrive にルート・ユーザまたはストレージ・システムの管理者を登録するには、次のコマンドを入力します。 `snapdrive config set tar db_host 1st ません`

RBAC が有効になっていない場合の SnapDrive の設定

データ保護を有効にするには、DataFabric Manager サーバの root ユーザまたはストレージシステムの root ユーザを SnapDrive に登録する必要があります。

1. DataFabric Manager サーバを更新して、ターゲットデータベースによってストレージシステム上で直接行われた変更を更新するには、次のコマンドを入力します。

`dfm host discover storage_system` のように入力します

2. DataFabric Manager サーバの root ユーザまたは管理者を SnapDrive に登録するには、次のコマンドを入力します。

`SnapDrive config set - dfm Administrator dfm_host`

3. SnapDrive に root ユーザまたはストレージ・システムの管理者を登録するには、次のコマンドを入力します。

SnapDrive の設定で root storage_system と指定します

プロファイルでのデータ保護の有効化または無効化の概要

データベースプロファイルの作成時または更新時にデータ保護を有効または無効にできません。

データベース管理者とストレージ管理者は、セカンダリストレージリソース上にあるデータベースの保護されたバックアップを作成するために、次の作業を行います。

状況	作業
プロファイルを作成または編集します	<p>プロファイルを作成または編集するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> セカンダリストレージに対するバックアップ保護を有効にする。 Data ONTAP 7-Mode を使用して、Protection Manager をインストールしている場合は、ストレージ管理者またはバックアップ管理者が Protection Manager で作成したポリシーを選択できます。 <p>Data ONTAP 7-Mode を使用して保護が有効になっている場合、SnapManager はデータベースのデータセットを作成します。データセットは、ストレージセットの集まりと、そのデータに関連付けられている設定情報で構成されます。データセットに関連づけられたストレージ・セットには 'クライアントへのデータのエクスポートに使用されるプライマリ・ストレージ・セット' および他のストレージ・セットに存在するレプリカとアーカイブのセットが含まれますデータセットは、エクスポート可能なユーザデータを表します。管理者がデータベースの保護を無効にした場合、SnapManager はデータセットを削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ONTAP を使用している場合は、作成した SnapMirror 関係または SnapVault 関係に応じて、_SnapManager_cDOT_ミラー_ または _SnapManager_cDOT_ ボールト_ ポリシーのいずれかを選択する必要があります。 <p>バックアップの保護を無効にすると、データセットが削除され、このプロファイルのバックアップのリストアまたはクローニングを実行できないことを示す警告メッセージが表示されます。</p>
プロファイルを表示します	<p>ストレージ管理者が保護ポリシーを実装するためのストレージリソースをまだ割り当てていないため、SnapManager のグラフィカルユーザインターフェイスと profile show コマンドの出力には、プロファイルが nonConformant と表示されます。</p>
Protection Manager 管理コンソールでストレージリソースを割り当て	<p>Protection Manager 管理コンソールで、保護されていないデータセットを表示し、プロファイルに関連付けられているデータセットの各ノードにリソースプールを割り当てます。ストレージ管理者は、セカンダリボリュームがプロビジョニングされていて保護関係が初期化されていることを確認します。</p>

状況	作業
SnapManager で適合プロファイルを表示します	SnapManager では、プロファイルがグラフィカルユーザーインターフェイスと profile show コマンドの出力の両方で適合状態に変更されており、リソースが割り当てられていることがデータベース管理者に示されています。
バックアップを作成します	<ul style="list-style-type: none"> • フルバックアップを選択します。 • また、バックアップを保護するかどうかを選択し、プライマリの保持クラス（毎時、毎日など）を選択します。 • Data ONTAP 7-Mode を使用していて、Protection Manager の保護スケジュールを無視してバックアップをセカンダリストレージですぐに保護する場合は、-protectnow オプションを指定します。 • ONTAP を使用していて、バックアップをセカンダリストレージですぐに保護する場合は、protect オプションを指定します。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <p>protectnow オプションは clustered Data ONTAP では使用できません。</p> </div>
バックアップを表示します	新しいバックアップは、保護のスケジュールに従って表示されますが、まだ保護されていません（SnapManager インターフェイスおよび backup show コマンドの出力）。保護状態は「保護されていません」と表示されます。
バックアップリストを表示する	ストレージ管理者がバックアップがセカンダリ・ストレージにコピーされたことを確認すると、SnapManager はバックアップ保護状態を Not protected から Protected に変更します

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。